

7/27-8/2#7 三一の神がご自身を私たちの中へと分与するという永遠の祝福は、私たちに享受させ、また神のエコノミーを完成するためである。I「主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように」(2コリント13:14)。これは、三一の神がご自身を私たちの中へと分与するという永遠の祝福であり、私たちに享受させ、また神のエコノミーを完成するためです。A聖霊はキリストの恵みと御父の愛との循環、伝達であって、私たちのクリスチャン生活と召会生活の供給です。B召会生活全体は、私たちの内側の神聖で霊的な循環を描写している2コリント13:14にかかっています。C2コリント13:14に啓示されている、神聖な三一の内なる循環としての神聖な三一の流れは、私たちの霊的命脈です。D神のエコノミーにおける神の意図は、彼の神聖な三一(父、子、霊)の中でご自身を彼の選ばれた人の中へと分与することです。時間における神の唯一の目標は、日ごとにご自身を私たちの中へと分与することです。詩36:8 彼らはあなたの家の脂肪分で満ち足り、あなたは彼らにあなたの楽しみの川から飲ませられます。9 あなたと共に、命の源泉があり。II.三一の神がご自身を私たちの中へと分与するという永遠の祝福を享受するために、私たちは神の永遠の愛の中へと入り、自分自身をその中に保つ必要があります。エレミヤ31:3 エホバは遠くから私に現れて言われた、「まことに、私は永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、私はあなたを、慈愛をもって引き寄せてきた」。A「私たちが愛するのは、神がまず私たちを愛してくださったからです」(1ヨハネ4:19)。神がまず私たちを愛し、ご自身の愛を私たちに注入し、私たちの内側に愛を生み出してくださいました。私たちはこの愛をもって、彼を愛し、兄弟たちを愛します。B申命記30:19-20は言います、「私はあなたの前に、命と死、祝福とのろいを置いた。それゆえあなたは命を選びなさい。それはあなたもあなたの子孫も生き、エホバ・あなたの神を愛して、彼の御声に聞き従い、彼にしっかり結びつくためである。また、彼があなたの命であり、あなたの日数の長さであり」1これらの節が啓示しているのは、命を選ぶ道は主を愛することであり、主を愛する道は、彼の御声に聞き従い、彼にしっかり結びつくことであるということです。2使徒11:23において、私たちがどのようにして彼にしっかり結びつくことができるかを啓示しています。バルナバがアンテオケに行ったとき、彼は、「心に決意して主にとどまるようにと、彼らをみな励ました」a主にしっかり結びつくことは、心に決意して主にとどまることです。bこれは主に対して絶えず忠信であり、彼と堅く結び付き、彼との密接な交わりの中で生きることです。c私たちは主イエスを愛するとき、神聖によって豊かにされた彼の人性の中

で、彼と同じになります。満ちあふれる神は、彼の豊富な属性の中で、私たちのかぐわしい「イエス的な」人性の美德を通して表現されます。Dこれらの「イエス的な」人性の美德は、超絶した愛、限りない寛容、無上の信実、極みまでのへりくだり、徹底した純潔、至高の聖と義、光明正大を含みます。これらの美德は、四福音書に記録されているイエスの生活の実際を描写しており、その生活は今や、私たちが経験し、享受し、表現するための、私たちの内住する命です。E私たちの内住する命としてのキリストは、絶対的に神のためであり、神の満足のためである生活を私たちにさせることができます。私たちの生活は、全焼のささげ物によって予表されている、イエスの人の生活の複製となります。F私たちはみな、主との十分な個人的な時間を費やし、私たちの霊の中で彼との愛情深く、私的で、霊的な交わりを持つ必要があります。それは、私たちが彼の愛する本質で満たされ、彼が私たちを通して他の人たちを牧養することができるためです。また私たちが彼の輝く要素で満たされることができるためであり、それは他の人たちが私たちを通して主を見るためです。G主に仕える者の人性は、主を愛することを通して保護されます。私たちが主を愛することは、私たちをイエスの人性の領域と範囲の中に保ちます。もし私たちが主を愛さないなら、主に引き寄せられることから来る規制を失い、何もかも行なってしまう恐れがあります。III.三一の神がご自身を私たちの中へと分与するという永遠の祝福を享受するために、私たちは、キリストの恵みの中へと入り、その中に立ち続ける必要があります。キリストの恵みとは、私たちの享受としての三一の神です。A私たちは日ごとに、主が私たちの耳を開き、彼の口から出て来る恵みの言葉を聞かせてくださることを必要とします。それは私たちが、愛する者の中で、御父が恵みをもって私たちを恵まれることを経験し、私たちに聞く人たちに恵みを与えることができるためです。B私たちは、召会生活の中で下ってくる露の命の恵みを享受し、自らを真の一の中に保つ必要があります。それは、神聖な三一の神聖な分与の中で、キリストのからだを徐々に建造するためです。詩133:1 何とすばらしく、何と喜ばしいことであろう。兄弟たちが和合して住んでいる! それは、頭に注がれた尊い油が髭に、アロンの髭に流れ下り、彼の衣のすそに流れ下るようだ。また、ヘルモンの露がシオンの山々に下って来るようだ。まことに、エホバはそこに祝福を命じられた。すなわち命を永遠まで。IV.三一の神がご自身を私たちの中へと分与するという永遠の祝福を享受するために、私たちは聖霊の交わり、すなわち、神聖な命の内なる流れの中へと入り、その中に自分自身を保つ必要があります。A交わりとは、すべての

信者の内側にある永遠の命の流れです。彼らは、神聖な命を受けており、所有しています。これは新エルサレムにおける命の水の川の流れによって例証されています。啓22:1 また御使いは、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。B1ヨハネ1:2-3と6-7は、神聖な命の交わりに垂直の面と水平の面の両方があることを啓示しています。11ヨハネ1:2～3は言います、「(この命が現れました。私たちはこの永遠の命を見たので、あなたがたに証しをし、また伝えています。この永遠の命は御父と共にいましたが、私たちに現れたのです)。私たちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも伝えます。それは、あなたがたも私たちと交わりを持つためです。私たちの交わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交わりのことです」a交わりの垂直の面は、私たちと三一の神との交わりを指しています。交わりの水平の面は、私たちの互いの交わりを指しています。b使徒たちの初めの経験は垂直のものでしたが、使徒たちが永遠の命を他の人に伝えたとき、彼らは神聖な交わりの水平の面を経験しました。26節は言います、「もし、私たちが神と交わりを持っていると言いながら、暗やみの中を歩いているなら、私たちは偽っているのであって、真理を実行していません」。これは交わりの垂直の面です。37節は言います、「しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち」。これは交わりの水平の面です。4命の交わり、命の内なる流れは、喜び、また命の光の内なる照らし、すなわち内なる支配という結果になります。c私たちは神聖な交わりの垂直の面と水平の面との間の関係を見る必要があります。1もし私たちが主と正しい交わりを持っていないなら、信者仲間と交わりを持つことは難しいのです。同じように、もし私たちが信者仲間と正しい交わりを持っていないなら、主と交わりを持つことは難しいのです。この理由は、神聖な交わりが一つの交わりであるからです。2私たちは実際的にこの交わりの中にいないとき、その霊の外におり、三一の神の外におり、神聖な命の外にいます。3私たちはできるだけ多く、私たちの信者仲間と交わりを持とうとすべきです。この神聖な交わりは私たちを矯正するだけではありません。それはまた私たちを鋳型に入れ、再構成させます。この交わりは神聖な構成要素を私たちの霊的な存在の中へともたらし、私たちの存在の中で変化を持たせます。d水平の交わりは垂直の交わりに織り込まれます。この織り込まれた交わりが真の交わりです。1私たちは霊を活用することによって互いに真に交わるとき、祈ることと主と接触することを渴望します。これは、垂直と水平の面の交わりの間の関係が、いかに密接であるか

を見せています。2私たちと聖徒たちとの水平の交わりは、私たちを主との垂直の交わりへともたらしめます。それから私たちと主との垂直の交わりは、私たちを聖徒たちとの水平の交わりへともたらしめます。

V.神聖な交わりはクリスチャン生活のすべてです。私たちは、交わりがないとき、神も消えることを認識しなければなりません。神は交わりとして来ます。A電流が電気そのものであるように、神聖な命の交わり、神聖な命の流れは、神聖な命そのものです。B私たちのクリスチャン生活は命の交わりの生活です。最終的に、この神聖な交わりの中で、神は私たちと織り込まれます。このように織り込まれることは神と人とのミングリングです。C神聖な交わりは、三一の神を私たち、三部分から成る人の中へと分与して、私たちと神を一にすることです。「交わり」のギリシャ語の言葉は「共にあずかること」を意味し、この共にあずかることは一を生み出します。D実は、交わりは一です。神が私たちと交わっているとき、そして私たちが神と交わっているとき、それが神と私たちを一にします。全宇宙に大きな一があり、この大きな一が神聖な交わりです。E主が願っているのは、父、子、霊が一であるように、私たちすべてを一にすることです。ヨハネ17章で主は祈りました、「それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです」(22b)。キリストのからだの一は、神聖な三一の拡大された一です。F神聖な交わりは、キリストのからだの中の生活の実践です。1主がまだ戻って来ない理由は、信者たちが個人主義的で、単独で、意見があり、分裂しているからです。2神聖な交わりの中に制限されることによってキリストのからだは、一の中に保たれ、その務めの働きは継続して前進します。すべてのものを生かすのは交わりです。G交わりはまた、ある共通の目的のために、個人的な利益を捨て、他の人と結合することを示します。ですから、神聖な交わりの中で生きることは、私たちの個人的な利益をわきに置き、使徒たちまた三一の神と結合して、神の定められた御旨を完成することです。1コリ10:16 私たちがさくパン、それはキリストの体の交わりではありませんか？ H最終的に、召会と神聖な三一は交わりの中で一です。

VI.私たちは神聖な交わりの中でキリストを享受しているとき、私たちの霊的生活における四つの極めて重要な事柄の循環を絶えず経験します。それは、永遠の命、永遠の命の交わり、神聖な光、神の御子イエスの血です。そのような循環は私たちを、神聖な命の成長において前進させます。そしてついに私たちは命の円熟へと至り、一人の完全に成長した人に団体的に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで団体的に到達します。